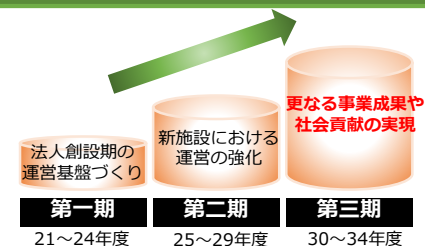


令和 2 年度  
地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター  
業務実績等報告書概要

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター

## 第三期中期計画

～これまで培ってきた技術・知見を活用し全都的な取組を展開～



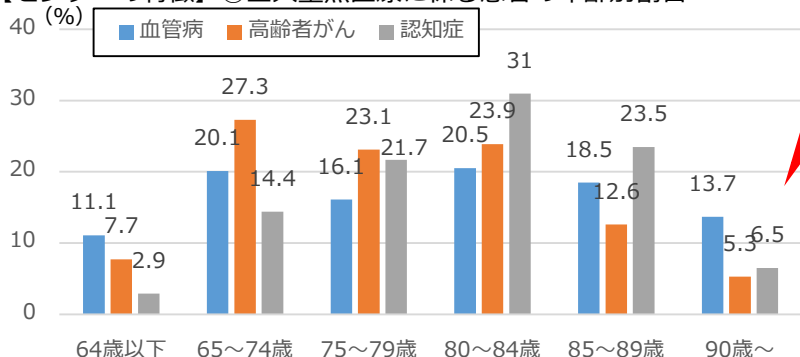
【重点方針】 (計画期間：平成30年度から5年間)

- ①高齢者の特性に配慮した医療の確立・提供と普及
- ②高齢者の健康長寿と生活の質の向上を目指す研究
- ③医療と研究が一体となった取組の推進
- ④高齢者の医療と介護を支える専門人材の育成
- ⑤業務内容の改善及び効率化
- ⑥財務内容の改善等

## 令和2年度の業務実績等

～年度計画を概ね達成し、第三期中期計画の達成に向けた取組を進めることができました～

【センターの特徴】 ①三大重点医療に係る患者の年齢別割合



全ての疾患で65歳以上の割合が約9割、80歳以上の割合は約半数を占める

(※) 血管病、高齢者がんについては、DPCデータに基づき、それぞれ血管病、高齢者がんの対象となる入院患者の割合。認知症については、もの忘れ外来を受診した患者の割合

②入院患者の担送・護送・独歩割合

種別	割合	定義
担送	40.3%	ストレッチャーなどを使用して、2人の介助者が必要
護送	38.9%	車椅子などを使用して、1人の介助者が必要
独歩	20.8%	自力で歩ける、介助者なし

介助の度合いが高い患者の割合が約8割である

こうした状況にも適切に対応し、都の高齢者医療及び研究の拠点としての取組を加速

→ 年度計画を概ね達成するとともに、第三期中期計画の達成に向けた取組を進めることができました。

## 自己評価結果

事項	項目数	S	A	B	C	D
高齢者の特性に配慮した医療の確立・提供と普及	9	1	7	1	0	0
高齢者の健康長寿と生活の質の向上を目指す研究	4	2	2	0	0	0
医療と研究が一体となった取組の推進	1	1	0	0	0	0
高齢者の医療と介護を支える専門人材の育成	1	0	1	0	0	0
業務内容の改善及び効率化	2	0	1	1	0	0
財務内容の改善等	3	1	1	1	0	0
合計	20	5	12	3	0	0

## 〈評価S・Aの主な項目〉

【病院部門】

- ・三大重点医療 (血管病医療) への取組 (S)
- ・三大重点医療 (高齢者がん医療、認知症医療) への取組 (A)
- ・地域連携の推進 (A)
- ・患者中心の医療の実践・患者サービスの向上 (A) など

【研究部門】

- ・高齢者に特有な疾患と老年症候群を克服するための研究(S)
- ・高齢者の地域での生活を支える研究 (A)
- ・研究推進のための基盤強化と成果の還元 (S)
- ・医療と研究が一体となった取組の推進 (S) など

【経営部門】

- ・コスト管理の体制強化 (A)
- ・法人運営のけるリスク管理の強化 (S) など



## 1. 三つの重点医療を始めとする提供体制の充実

○病院部門においては、新型コロナウイルス感染症に適切に対応するとともに、**三大重点医療の提供など、年度計画に定める取組を適切に実施した。**

### ① 血管病医療 **評価S** (R1自己評価：A)

急性期患者の積極的な受け入れや早期リハビリ等に引き続き取り組むなど**高齢者に対する血管病医療体制の更なる充実・強化**を図った。

【主な取組】

- ・経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVI/TAVR）を再開し、**28**件の手術を実施
- ・急性大動脈スーパーネットワーク受入件数 **19**例（令和元年度 2件）
- ・CCUネットワーク受入件数 **29**件（令和元年度 27件）



【TAVI】

### ② 高齢者がん医療 **評価A** (R1自己評価：A)

正確かつ低侵襲な検査・治療の一層の推進や高齢者機能評価（GA）を活用し、**高齢者の特性に合わせた最適ながん医療の提供**に取り組んだ。

【主な取組】

- ・**肝胆膵領域専門の医療体制を強化**  
肝胆膵高難度手術 **13**例（令和元年度 8例）  
うち膵頭十二指腸切除 **9**例（令和元年度 4例）
- ・肺がん領域では、遺伝子変異等に基づく治療の個別化に加え、**GAの結果を治療の個別化に活用**し、患者の意思決定を支援
- ・放射線治療では、緩和ケア内科をはじめ各診療科と連携し、**緩和的放射線治療を61例、71部位**（令和元年度 55例、64部位）に実施するとともに、世界標準の放射線治療器導入を推進（令和3年5月稼働予定）

### ④ 生活機能の維持・回復のための医療 **評価A** (R1自己評価：A)

入院患者の早期退院に向けた支援や、高齢者特有の疾患に対する外来でのケア等、**「治し支える医療」**に向けて取り組んだ。

【主な取組】

- ・フレイル外来の診療を週5日とし、1年間で**758名**の患者の**フレイル評価**を実施、フレイルの原因疾患の治療並びにフレイル進行予防のための栄養療法及び運動療法について指導することで、社会参加を推進する包括的な治療を実施
- ・心不全チームを中心に多職種でACPを実践し、病期や今後予測される経過を患者と共有し、意思形成や意思決定のプロセス支援を行った。（支援実績：41名）



【導入中の放射線治療装置VitalBeam】



【高齢者看護エキスパート研修(Web開催)】

Image courtesy of Varian Medical Systems, Inc. All rights reserved.

### ③ 認知症医療 **評価A** (R1自己評価：A)

認知症の診断・ケアや、地域の認知症対応力向上等、**認知症の早期診断・発見や地域との連携の推進**に取り組んだ。

【主な取組】

- ・コロナ禍においても、画像診断の精度向上・早期診断を目的として、MRI検査等を積極的に実施 **1,385**件（令和元年度 **1,512**件）
- ・**「認知症はじめて講座」及び認知症の介護家族交流会をオンラインで開催**する等、認知症患者や家族に対する支援を維持

### ⑤ 医療の質の確保・向上 **評価B** (R1自己評価：B)

**高齢者に特化した医療の提供**に向けて、研修等の計画的な実施や専門資格の取得を推進などの人材育成を実施した。

【主な取組】

- ・**糖尿病看護認定看護師教育課程（特定行為あり）、摂食・嚥下障害認定看護師教育課程**に各**2**名修了
- ・**高齢者看護エキスパート研修**をWEB等利用しながら開催し、**8**名（院内6名、院外2名）が修了（公開講座には25名参加）

## 2. 地域医療の体制の確保

地域医療

### ①救急医療 **評価A** (R1自己評価:A)

地域医療機関や消防署との連携を図りつつ、**高齢救急患者の受入**に引き続き取り組んだ。

【主な取組】

- ・ SCUを活用し、急性期脳卒中患者に対し、適切な医療を提供  
**SCU稼働率90.1%** (令和元年度 85.6%)
- ・ 板橋消防署、救急隊向けに、感染管理看護師による「感染予防対策研修」を実施し、マスクや防護具の正しい着脱方法等、コロナ禍に実用的な情報を供与

### ②地域連携の推進 **評価A** (R1自己評価:B)

地域医療機関等との連携の推進、紹介受入・逆紹介の強化等、**地域と連携した医療実施体制の整備**を推進した。

【主な取組】

- ・ 高齢診療科を新たに開設し、体重減少などの老年症候群を主訴とする紹介患者を積極的に受入  
【地域包括ケア病棟】  
直接入院割合 **46.2%** (令和元年度 15.7%)  
直接入院症例 高齢診療科 **37例**、総合内科 **48例** (令和元年度 7例)、  
整形外科 **63例** (令和元年度 11例)
- ・ 紹介率 **69.1%** (令和元年度 65.2%)、逆紹介率 **77.7%** (令和元年度 75.7%)



【感染予防対策研修】

高齢者特有の症状を全体的に診ます。  
**高齢診療科**  
平日 (月～金) 13時～15時

【高齢診療科開設HP】

## 3. 医療安全対策の徹底

医療安全

### ①医療安全対策の徹底 **評価A** (R1自己評価:A)

院内の事故等の情報集約・分析・共有等、**医療安全、感染防止対策の一層の強化**に取り組んだ。

【主な取組】

- ・ 入院時に患者との転倒リスク状態の共有をできるチェック用紙を作成し、患者と共に転倒予防についての情報を共有  
【**転倒・転落事故発生率: 0.34%(令和元年度0.36%)**】(全国中央値※: 0.45%)※2017年「医療の質の評価・公表等推進事業」
- ・ 感染防止対策加算取得施設との連携カンファレンスや、コンサルテーション依頼に対応し、来訪によるセンターの取組の紹介や検査体制構築に向けた助言などを実施。

## 4. 患者中心の医療の実践・患者サービスの向上

患者サービス

### ①患者中心の医療の実践・患者サービスの向上 **評価A** (R1自己評価:B)

ご意見箱や患者満足度調査の結果等を踏まえた取組の実施等により**患者・家族に寄り添う医療の提供**に向けて取り組んだ。

【主な取組】

- ・ コロナ禍により入院面会が禁止となる中、研究所協力の下、**PCR検査の実施後に必要不可欠な面会を可能**とした。(検査実施件数 延べ182件) また、**タブレットを用いたオンライン面会**も併せて実施 (延べ37件)
- ・ 初診患者の最短予約取得日について、病院運営会議で毎月モニターし、予約枠の調整をすることで、患者の待期期間短縮を推進  
入院患者満足度 **90%** (令和元年度 89%)、外来患者満足度 **87%** (令和元年度 83%)



【タブレットを用いたオンライン面会】



○新型コロナウイルス感染症により、自然科学系では輸入試薬調達の遅れ、社会科学系では疫学データ収集のための調査の中断などの影響を受けたが、**全国に先駆けて研究調査再開に当たっての指針策定を行うなどの取組により、研究活動を早期再開するとともに、適切に実施した。**

① **高齢者に特有な疾患と老年症候群を克服するための研究** **評価S** (R1自己評価：A)  
**がんの治療や転移の抑制、老化制御や健康維持等に関わる研究を推進**し、老年疾患・老年症候群の克服に向けて取り組んだ。

【主な取組】

- ・世界で初めて、FGFR4の阻害により**細胞老化を誘導することで、膵臓がんの増殖と浸潤を抑えることが可能**であることを明らかにした。

《掲載誌》Cancers  
 《英文表題》FGFR4 inhibitor BLU9931 attenuates pancreatic cancer cell proliferation and invasion while inducing senescence - evidence for senolytic therapy potential in pancreatic cancer SW

- ・脂肪組織から脂肪幹細胞を培養を経ることなく同定し、**老化による脂肪幹細胞の分化機能不全の分子機構**を明らかにした。

《掲載誌》PLOS ONE  
 《英文表題》Age-associated changes in the transcriptomes of non-cultured adipose-derived stem cells from young and old mice assessed via single-cell transcriptome analysis

② **高齢者の地域での生活を支える研究** **評価A** (R1自己評価：A)  
**多世代間の交流や地域における高齢者支援等に関わる研究を推進**し、高齢者を支える地域づくりに向け取り組んだ。

【主な取組】

- ・フレイルな状態であっても農作業、知的活動、社会参加をしている者は、**非フレイルな状態へと改善しやすい**ことを明らかにした。

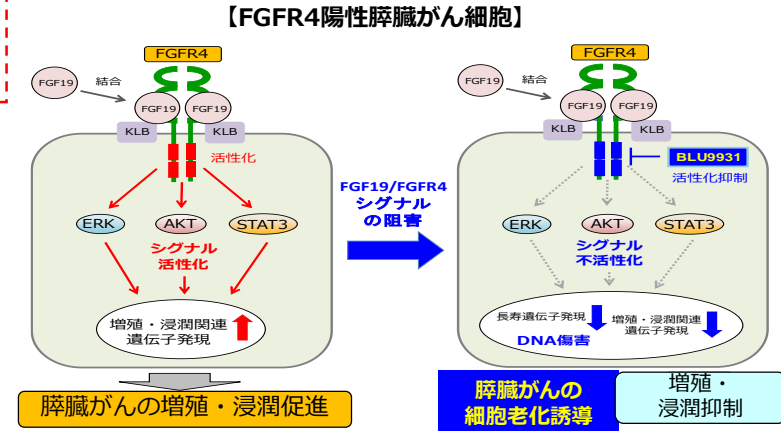
《掲載誌》Maturitas  
 《英文表題》Healthy lifestyle behaviors and transitions in frailty status among independent community-dwelling older adults

- ・全国高齢者パネル調査の参加者のうち、訪問調査に協力した65歳以上の高齢者2,206名のデータを解析し、**地域在住日本人高齢者のフレイル割合**を明らかにした。

《掲載誌》Archives of Gerontology and Geriatrics  
 《英文表題》National prevalence of frailty in the older Japanese population

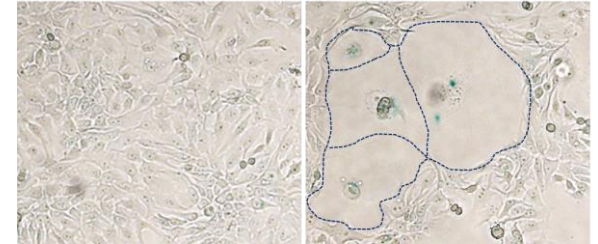
- ・東京都内在住の無作為抽出した8,576名（若年者 [18-39歳] 2,543名；中年者 [40-64歳] 3,048 高齢者 [65歳-] 2,985名）に郵送による住民調査を行い、**SNSの利用状況と精神的な健康との関連**を明らかにした。

《掲載誌》PLOS ONE  
 《英文表題》Who is mentally healthy? Mental health profiles of Japanese social networking service users with a focus on LINE, Facebook, Twitter, and Instagram



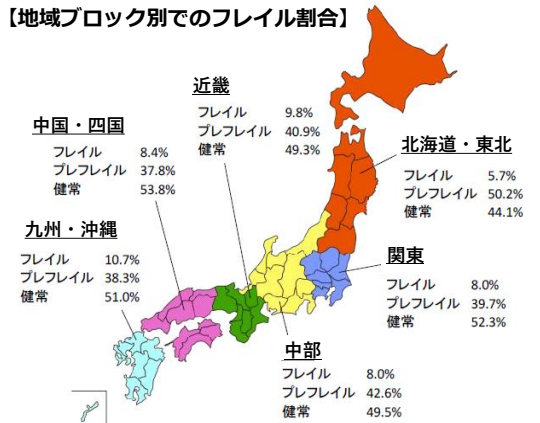
無処置の膵臓がん細胞

FGFR4阻害剤を加えた膵臓がん細胞



FGFR4阻害剤を膵臓がん細胞に加えると、細胞の形が大型で扁平となり、細胞の中にある核の形にも変化がみられる（点線で囲った細胞、老化が誘導された膵臓がん細胞）

【地域ブロック別でのフレイル割合】



③老年学研究におけるリーダーシップの発揮 **評価A** (R1自己評価：B)

老年学関連学会の開催や研究成果の政策への反映を通じて、**都における老年学研究の拠点としてリーダーシップを発揮**した。

【主な取組】

- ・ [日本サルコペニア・フレイル学会を開催](#)し、当研究所における自然科学系・社会科学系の研究成果全体を全国に提示
- ・ 認知症疾患医療センターの質の向上に関する一連の研究成果について、[わが国の認知症疾患医療センター運営事業の実施要綱に反映](#)

④研究推進のための基盤強化と成果の還元 **評価S** (R1自己評価：S)

研究支援組織の活用や地域の人材育成等を通じ、**研究の基盤強化と研究成果の全都的な普及**に向けて取り組んだ。

【主な取組】

- ・ [クラウド型特許データベースを活用した知財管理業務委託を開始](#)し、知的財産活動を一層推進【特許申請数：15件（令和元年度 13件）】
- ・ [認定臨床研究審査委員会※では外部からの審査依頼にも対応](#)し、40件の審査を実施【当センター20件、その他病院20件】
- ・ 公的研究費への応募や産学公連携活動を推進し、[外部資金獲得金額が過去最高記録を更新](#)  
【外部資金獲得金額：1,076,203千円（令和元年度 983,066千円）】

※認定臨床研究審査委員会…厚生労働大臣の認定を受けて、臨床研究法に定める研究の審査/管理を実施する。

## 令和2年度の主な実績（TR部門）～医療と研究が一体となった取組の推進～

1. 医療と研究が一体となった取組の推進 **評価S** (R1自己評価：A)

## ①トランスレーショナル・リサーチの推進

HAICにおいて実用化研究を重点支援し、産学公連携を推進する等、**老年学・老年医学に係る高い研究成果の創出**に向けて取り組みんだ。

【主な取組】

- ・ 実用化が期待できる研究や新型コロナウイルスに対する迅速診断の体制整備を支援するとともに、[複数の産学公機関とセンターとの連携協定を締結](#)

## 〈認知症支援の推進に向けた取組〉

医療従事者への認知症対応力向上支援、大都市認知症支援体制モデル開発等、**地域における認知症支援体制の構築**に貢献した。

【主な取組】

- ・ 島しょ部を含む東京都全域を対象地域として、[認知症医療・ケアに携わる専門職の育成](#)を目的として研修会を企画運営（令和2年度は、新型コロナウイルス感染症流行拡大の影響を受け、すべての研修をオンラインで実施）

## 〈介護予防の推進及び健康の維持・増進に向けた取組〉

介護予防に取り組む区市町村への支援や、高齢者特有の疾患に対する外来でのケア等、**地域における介護予防支援体制の構築**に貢献した。

【主な取組】

- ・ 東京都介護予防推進支援センターを東京都介護予防・フレイル予防推進支援センターとして改編し、[介護予防に加えてフレイル予防のノウハウの普及と人材育成を促進](#)することで、介護予防・フレイル予防につながる地域づくりに取り組む区市町村を支援



○これまで培ってきた膨大な臨床・研究データ等を活用し、「**認知症予防もケアも、東京に住んでいて良かった**」と言われるような**先見の明が社会実装につながる成果を目指し**、以下の取組を実施した。



【IRIDEロゴマーク】

①ビッグデータを活用した「TOKYO健康長寿データベース」

センターの保有する各種データベースを統合し、**オープンに活用可能なデータベースを構築**

- ・データベースシステムの基盤設計、既存の病院や研究所の通信網とは独立した通信網の整備を完了
- ・社会科学系コホートの統合データセット及び過去のもの忘れ外来データセット、新規バイオバンク事業のデータベースへの格納を検討し、永続化するデータの選定を推進

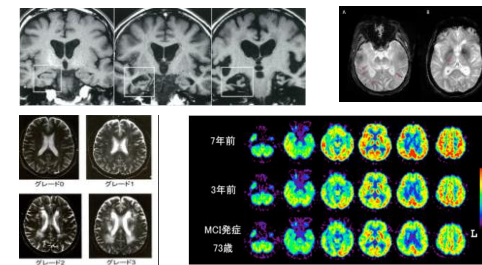


【認知症未来社会創造センター（IRIDE）開設記者発表】

②メディカルゲノムセンター

生体試料の保管・提供及びゲノム解析、低コスト・低侵襲な**体液バイオマーカーの開発**

- ・前向き研究として予定登録症例数2,500例を設定し、生体試料の品質管理及び保存の基盤整備を推進
- ・過去生体試料等の管理において集約化した統合バイオバンクの整備を推進



【AIへの教師あり画像の例】

③AI認知症診断システムの構築

AIを活用した**画像診断システム及び自動会話プログラムの開発**

- ・AIチャットボットの開発について、自動会話プログラムのプロトタイプ開発に着手するとともに、国立長寿と杏林大学との共同研究により、AI学習に活用する認知症患者の会話の録音・録画を収集
- ・AI診断ツールの開発（東大と共同研究）について、AIシステムのプロトタイプを検証を完了

○医療・研究部門の知識と技術を統合的に活用し、**フレイルでも快適に過ごせる社会の形成に貢献**するため、以下の取組を実施した。

①地域との連携

自治体や医師会と連携し、**介護予防・フレイル予防の取組を支援**

- ・「板橋区におけるフレイル対策に関する意見交換会」を開催し、社会資源の整理、保険指導の実施法、フレイル健診の活用法等について意見交換を実施
- ・フレイル予防センター運営会議を開催し、フレイル予防センターの6つのチームの今後の取組、外科系フレイル評価チームの結成及び研究所と病院の連携について確認

②フレイルサポート医の育成

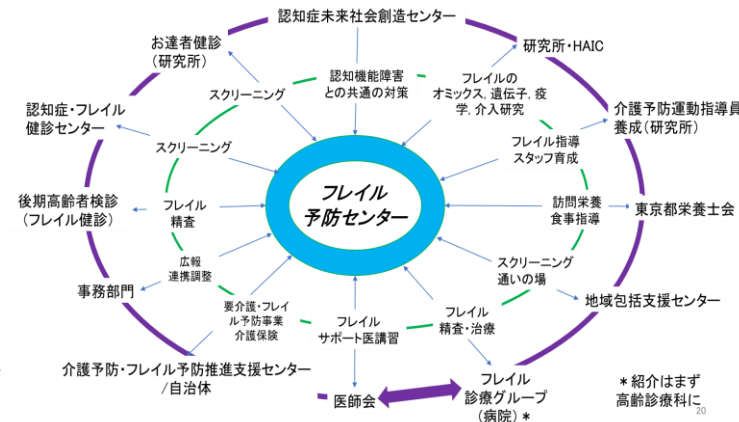
医師会と連携し、**地域におけるフレイル対策をリードする医師を育成するための研修を開始**

- ・板橋区医師会を対象にフレイルサポート医研修会を実施するとともにオンライン用動画を作成し、コロナ禍における研修実施手法を検討

③栄養の対策

フレイルに対する**栄養指導の質の向上**

- ・令和3年度にフレイル予防の栄養指導士の資格を作り、講習会を開催できるよう、東京都栄養士会と調整



【フレイル予防センター 地域連携ネットワーク】

\*紹介はまず高齢診療科に



## 1. 高齢者の医療と介護を支える専門人材の育成

人材育成

### ① 高齢者の医療と介護を支える専門人材の育成 **評価A** (R1自己評価：A)

大学等での講義、講演やセミナー等をオンラインで実施するなど、**次世代の高齢者医療・研究を担う人材を育成**した。

【主な取組】

- ・高齢医学セミナーを**現地及びオンラインのハイブリッド形式**で開催し、優秀な学生を採用・確保【初期臨床研修医マッチング試験受験者 49名】
- ・連携大学院等から学生の受入を行い、老年学・老年医学研究員の育成に貢献【受入数：33名】
- ・高齢者看護エキスパート研修をWEB等利用しながら開催し、8名（院内6名、院外2名）が修了（公開講座には25名参加）【再掲】

## 2. 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

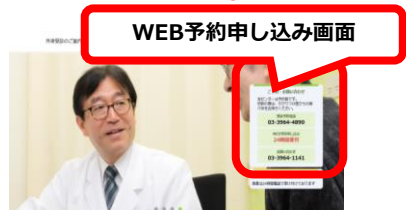
業務運営

### ① 地方独立行政法人の特性を活かした業務改善・効率化 **評価A** (R1自己評価：B)

働き方改革の推進に向けたライフ・ワーク・バランス確保、タスクシフティングの推進など、**効率的・効果的な業務執行に向けた取組を推進**した。

【主な取組】

- ・**医師事務作業補助者を増員**し、検査オーダーの代行入力等を行うことで、医師の事務負担を軽減
- ・患者サービス向上及び予約センターの混雑解消を図るため、**オンライン予約を開始**し、コロナ禍においても有効に機能（利用実績：585件）



【診療予約/予約変更申し込みフォーム画面】

### ② 適正な法人運営を行うための体制強化 **評価B** (令和元年度評価：B)

各種監査や研修会の実施等により、**センター運営の透明性・健全性の確保**に向けて取り組んだ。

【主な取組】

- ・**保険指導の専門家**を雇用し、**職員に対するカルテ記載内容の突合作業訓練**を実施することで、適切な保険請求に向けた取組を実施
- ・**研究活動の不正防止に関する規程を改定**し、特定不正行為の認定方法等について明記することにより、研究不正防止対策を徹底

## 3. 財務内容の改善に関する事項

財務改善

### ① 収入確保 **評価B** (R1自己評価：B)

新たな施設基準の取得等により、**収入確保に向けた取組の一層の強化**を図った。

【主な取組】

- ・保険指導の専門家との連携、DPC分析ソフトの活用などにより適切な保険請求を医師に提案することで収入の増加に尽力（下表参照）
- ・7月より「精神科急性期医師配置加算2のイ」を取得し、約3,000万円の収入を確保

例：麻酔管理料

	令和2年度	令和元年度
件数(件)	727	440
算定金額(千円)	6,068	4,504

### ② コスト管理の体制強化 **評価A** (R1自己評価：B)

支出の削減に向けた案の検討・実施等により、**一層のコストの削減を推進**した。

【主な取組】

- ・一層のコスト削減に向けて、**大型の委託契約について業務内容を見直し、次年度に向け1億円以上を削減**
- ・価格交渉やベンチマーク改善の取組等により、**医薬品費及び診療材料費について4,000万円以上を削減**

## 4. 法人運営におけるリスク管理の強化

法人運営

### ① 法人運営におけるリスク管理の強化 **評価S** (R1自己評価：B)

災害対策訓練、安全な職場環境の整備、情報セキュリティ強化等、**危機管理体制の強化**に向けて取り組んだ。

【主な取組】

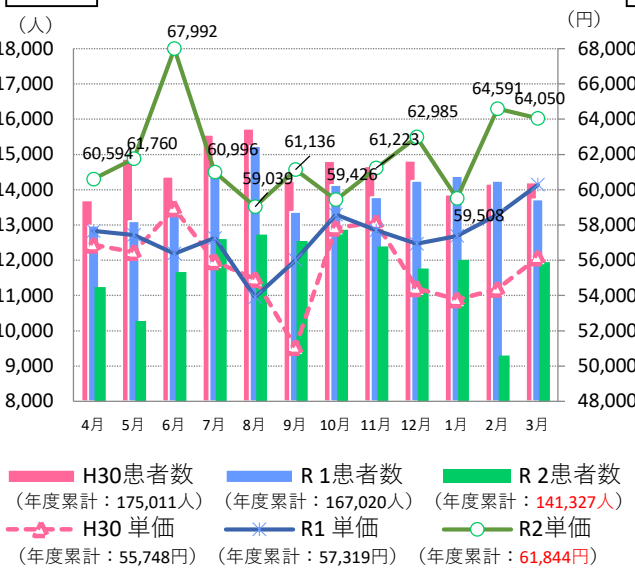
- ・**看護師を対象に「スキルアップ研修 災害時の対応」**を実施し、災害拠点病院としての自院の役割を再認識するとともに、災害意識を向上
- ・「情報セキュリティ研修」及び「個人情報保護研修」をe-ラーニングで実施し、職員の理解度向上に寄与【受講率100%】



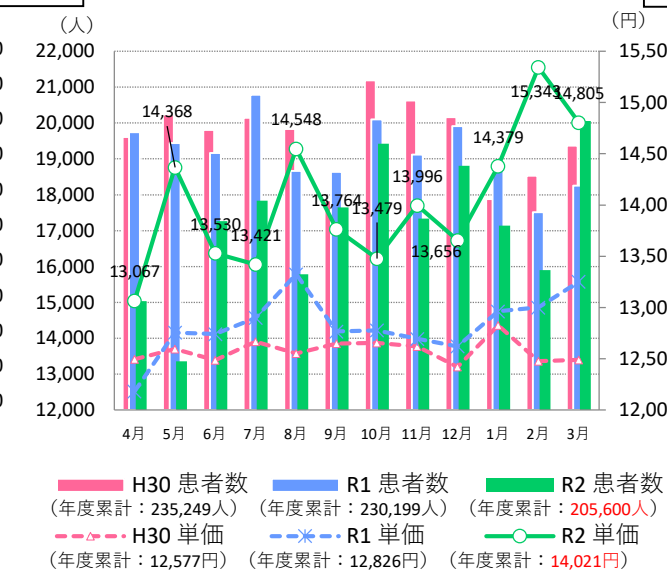
# 参考資料：令和2年度の主な数値実績①（病院部門）



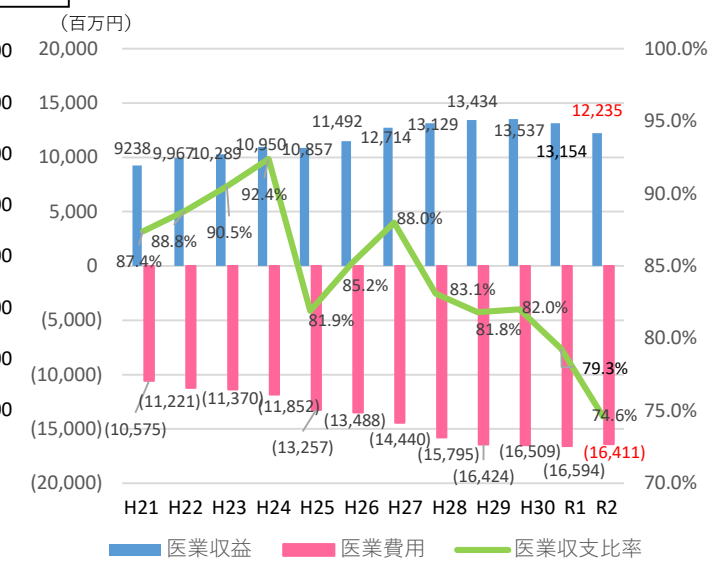
**表1 入院患者数と入院単価の推移**



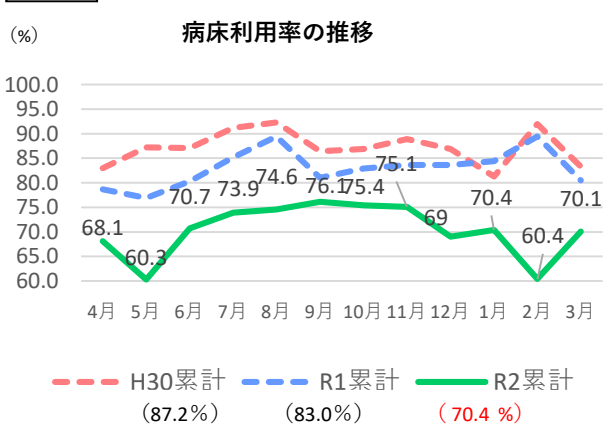
**表2 外来患者数と外来単価の推移**



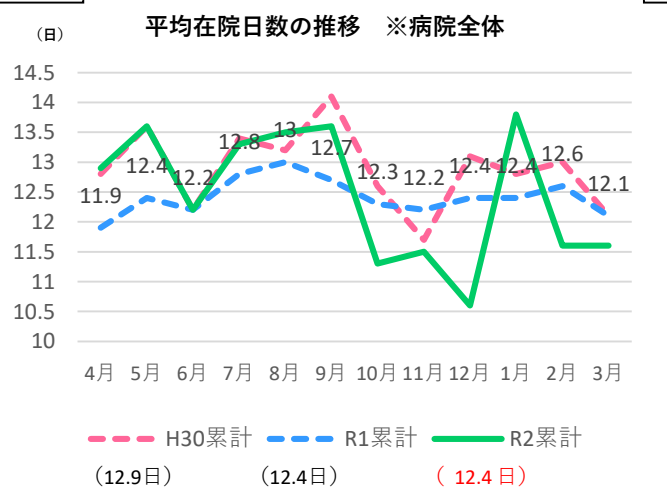
**表3 医業収益及び医業費用について**



**表4 病床利用率の推移**



**表5 平均在院日数の推移 ※病院全体**



**表6 救急患者総数**

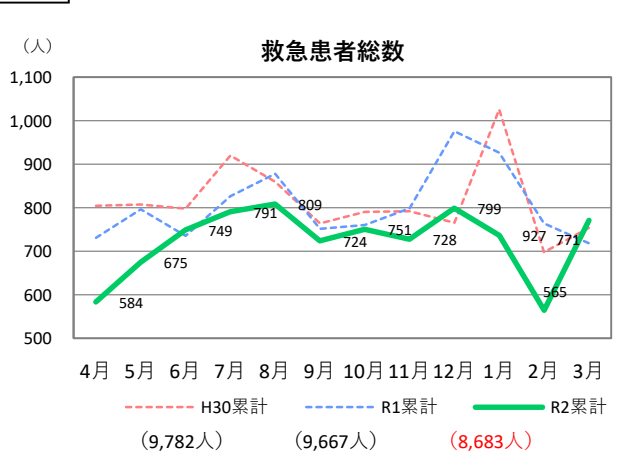




表7

学会・論文発表件数

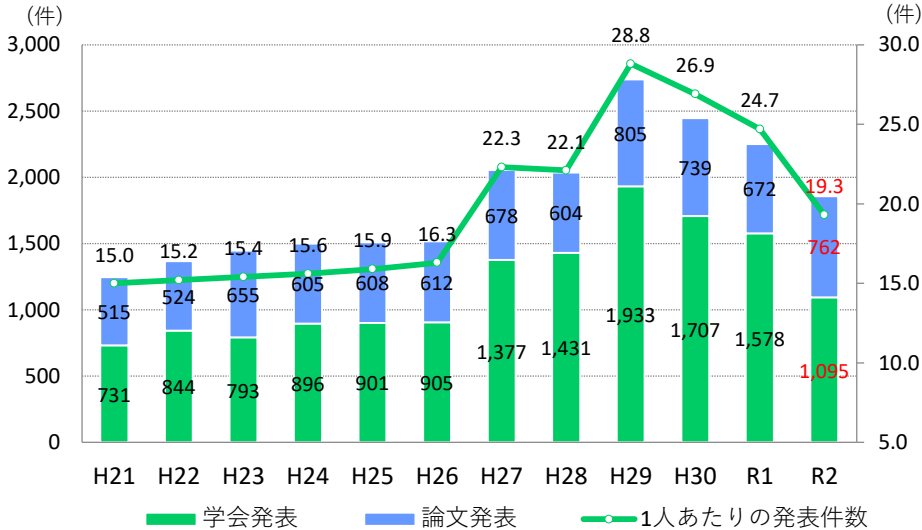


表8

外部資金獲得額

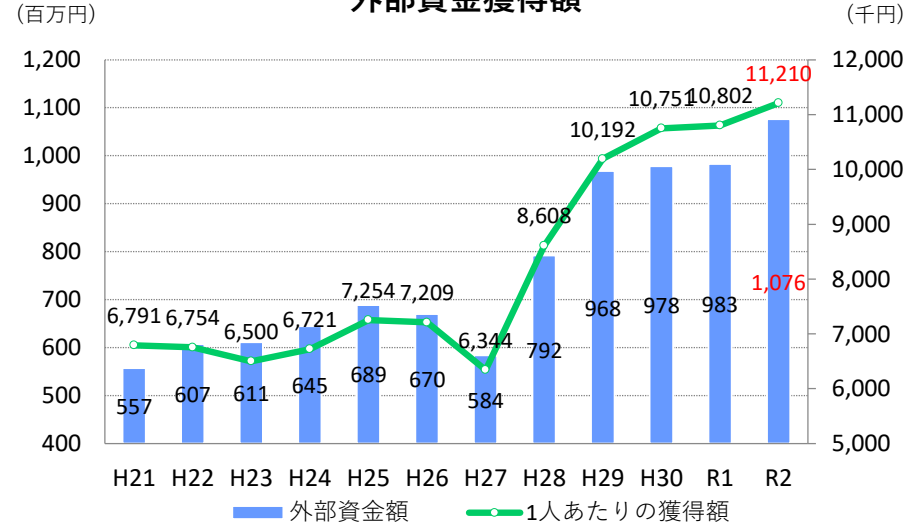


表9

科学研究費等獲得額・件数

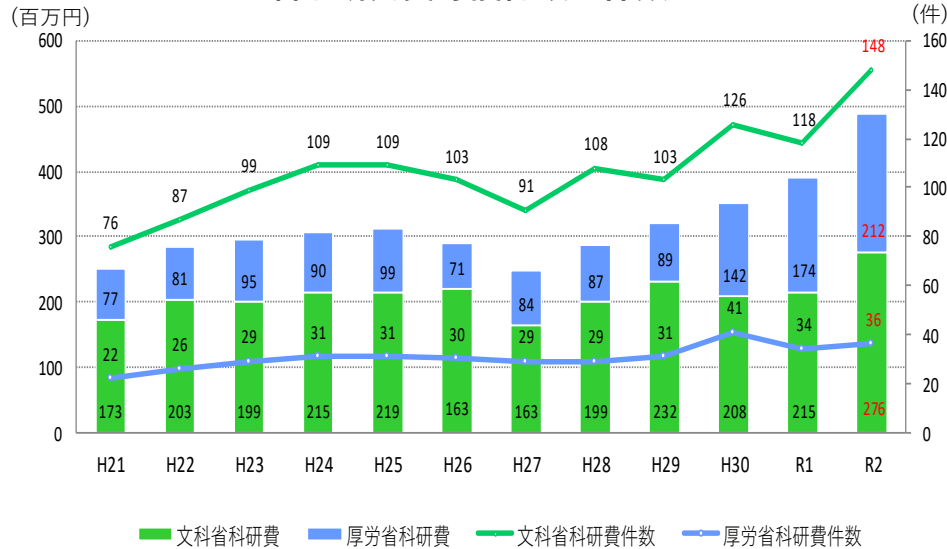


表10

受託研究等の受入金額

